

# 市川市消防委員会資料

日 時：令和6年2月1日（木）

16時00分から

場 所：市川市消防局 5階ホール

# 目 次

## 1 議 題

令和6年度市川市消防局の主な施策（案）について (P 1)

## 2 報 告

(1) 令和5年消防出動状況について (P 5)

(2) 南部地区消防防災施設整備事業の計画見直しについて (P 8)

(3) 市川市火災予防条例の一部改正について (P 9)

(4) 第59回千葉県消防操法大会の結果について (P 10)

(5) 第51回全国消防救助技術大会の結果について (P 12)

## 3 その他

消防局における今後の主な行事予定について (P 14)

【議題】

令和6年度 市川市消防局の主な施策（案）

施 策	施策の内容	主な担当課
<p>消防車両等の整備の推進</p>	<p>消防車両等の更新計画に基づき、車両等の整備、更新を行い、消防活動体制の充実強化を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・はしご車の更新 1台</li> <li>・高規格救急車の更新 2台</li> </ul> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>【はしご車（出典：株式会社モリタ）】</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>【高規格救急車】</p> </div> </div>	<p>企画管理課</p>
<p>消防指令業務共同運用の推進</p>	<p>平成25年4月に6消防本部（市川市、松戸市、野田市、流山市、鎌ヶ谷市及び浦安市）で共同運用を開始した消防指令センターは、令和3年2月より新たに4消防本部（習志野市、柏市、八千代市及び我孫子市）を加え、「ちば北西部消防指令センター」として運用を開始している。</p> <p>引き続き、多種多様化する通報形態に対応出来るよう管制員の応対技術を磨くと共に、市民等に対しては119番通報時の留意点を積極的に広報する等、迅速な対応に向け、指令管制業務の更なる充実を図る。</p>	<p>指令課</p>
<p>消防団及び婦人消防クラブの充実強化</p>	<p>消防団は、1団本部、4方面隊、23個分団の総数327名の消防団員で組織され、火災出動をはじめ、自然災害や大規模災害等において、市民の生命、身体及び財産を守る崇高な使命を持った欠かせない存在である。</p> <p>消防団員を確保するため、各種イベント会場における広報活動や、市公式Webサイト及び消防局公式「X」等を活用し入団促進を図る。更にポータブル電源を4か年計画で団本部、各分団に配備し装備の充実を図るとともに、各種訓練を実施することにより、地域防災力の強化を図る。</p> <p>また、婦人消防クラブは、14支部で組織され、クラブ員の総数は336名となっている。一般家庭からの火災防止と大規模災害時における地域の女性防災リーダーとして活動するために、初期消火や応急手当等の技術を修得し、自治会の防災訓練時に指導を行うなど、地域に密着した活動を行っている。今後も地域の中心的存在として、活動内容の充実や組織体制の強化を図る。</p> <p>【消防団員数・婦人消防クラブ員数・令和6年1月1日現在】</p>	<p>警防課</p>

施 策	施策の内容	主な担当課
火災予防対策の推進	<p>消防訓練や防火管理講習、消防局の広報紙「こちら119」や公式「X」及び市公式 Web サイトを活用した広報活動を実施するとともに、春季及び秋季全国火災予防運動に合わせて火災予防ポスターの掲示等を行い、火災予防対策の推進を図る。</p>	<p>予防課</p>
研修・講習の充実	<p>近年、災害は、多種多様化、激甚化及び頻発化しており、また、近い将来には、首都直下地震や南海トラフ地震などの大規模地震の切迫性も懸念されている中、市民の「安全・安心」を守るため、各種研修・講習等を充実させ、職員の技術、資質の向上を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・消防大学校（幹部科、女性活躍推進コース）</li> <li>・千葉県消防学校（初任科、予防査察科、救急科、訓練指導科、水難救助科、高度救助科）</li> <li>・救急救命士新規養成研修</li> <li>・大型自動車免許取得講習</li> <li>・2級小型船舶操縦士免許取得講習</li> <li>・小型移動式クレーン運転技能講習</li> <li>・潜水土免許試験</li> </ul>	<p>消防総務課            予防課            警防課            救急課</p>
救急需要対策の強化	<p>救急出動件数は年々増加の一途を辿り、救急隊の現場到着時間も延伸している。この改善策として「救急車の適正利用」を推進し救急業務を持続的、安定的に提供することが重要となる。</p> <p>緊急度、重症度の高い脳卒中や心疾患などの病気の際には、「ためらわずに救急車を呼ぶ」必要があることから、「ためらわずに救急車を要請すべき内容について」広報するとともに、救急車を呼ぶか迷った際に利用できる、相談電話や緊急度判定アプリなどの利用を積極的に広報し、軽症率を減少させる。</p> <p>【数値目標：軽症率48%未満（令和5年比で-1%）】</p>	<p>救急課</p>
救急業務高度化の推進	<p>救急業務の高度化を推進するため、メディカルコントロール体制（①医師による救急救命士の特定行為に対する指示体制。②救急隊員に対する指導助言体制。③医学的観点からの救急活動に対する事後検証体制。④救急救命士の教育体制（2年間で日常的な教育体制と病院研修を併せて128時間以上。）の充実強化を推進する。</p> <p>また、救急隊員の日常的な教育体制（1年間で80時間の研修などの実施を目指す。）及び自己研鑽の充実を図り、救急隊員の資質及び技術の向上を図る。</p>	<p>救急課</p>

施 策	施策の内容	主な担当課
<p>応急手当普及啓発業務の推進</p>	<p>救急出動件数の増加に伴い、救急車の現場到着時間は年々延伸しており、その場に居合わせた方（バイスタンダー）が行う応急手当の期待は大きく、応急手当の普及啓発活動の推進は重要である。</p> <p>バイスタンダーの育成強化のため、講習時間の短縮が可能なWEB講習や出張型救命講習など、効率的な講習の実施や次世代を担う子供たちに対する講習会を実施する。</p> <p>【数値目標：心肺機能停止傷病者に対してバイスタンダーが行う応急手当の実施率を40%以上とする。(過去3年間の平均値37%)】</p>	<p>救急課</p>
<p>消防・救助体制の充実強化</p>	<p>多種多様化する災害に対応するため、隊員一人ひとりの消防救助技術の向上を図るとともに、台風やゲリラ豪雨による土砂災害等に対応するため、新たに配備する重機及び重機搬送車を効果的に活用する。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">   </div> <p style="text-align: center;">【重機搬送車】                      【重機】</p> <p style="text-align: center;">出典：消防庁ホームページ</p>	<p>警防課</p>
<p>消防応援・協力体制の強化</p>	<p>首都直下地震や大型化している台風など、市内全域に被害をもたらす災害に対応するため、千葉県広域消防相互応援協定に基づく訓練や緊急消防援助隊の訓練に積極的に参加し、広域応援体制の強化を図る。</p>	<p>警防課 救急課</p>
<p>住宅用火災警報器の設置並びに維持管理普及啓発の推進</p>	<p>住宅火災の犠牲者の多くは逃げ遅れによるものとなっており、住宅用火災警報器は火災の発生をいち早く知らせる有効な機器となっている。</p> <p>その有効性について消防訓練や各種広報媒体を通じて周知し、設置率の向上を図る。</p> <p>また、住宅用火災警報器は設置から10年が経過すると、機器本体の劣化や電池の寿命により有効に火災を感知しなくなることがある。10年を目安に交換が必要となるため、住宅用火災警報器の交換の必要性についても広報を実施する。</p> <p>【本市設置率：令和5年6月1日現在86%】 【市川市総合計画第三次基本計画における令和5年度から令和7年度数値目標：87%】</p>	<p>予防課</p>

施 策	施策の内容	主な担当課
安全衛生管理体制の充実と健康管理体制の推進	<p>消防局・消防署所をより働きやすい環境にするため、産業医からのアドバイスや職員からの提案を取り入れ環境の整備に努める。</p> <p>また、安全衛生委員会において、事故事例やヒヤリハット事例を共有し、災害活動時や訓練時及び通勤途上での事故防止に努めるとともに、職員の健康管理に対する意識向上のため、健康管理に関する情報を提供する。</p> <p>さらに、ハラスメントの撲滅に向けて、定期的にハラスメントに関する研修を実施する。</p>	消防総務課

【報告 1】

令和5年 消防出動状況 (令和5年1月1日～令和5年12月31日)

令和6年1月4日現在 (概数)

1 諸出動状況

区分	年別	令和5年	令和4年	増減数	増減率
火 災		66	72	△ 6	△ 8.3%
そ の 他		959	909	50	5.5%
P A 連 携		3,623	3,465	158	4.6%
風 水 害		1	1	0	0.0%
応 援 火 災		26	25	1	4.0%
救 助		516	481	35	7.3%
救 急		28,844	27,114	1,730	6.4%

2 火災発生状況

区分	年別	令和5年	令和4年	増減数	増減率
火 災 件 数		66	72	△ 6	△ 8.3%
火 災 種 別	建 物 火 災	44	50	△ 6	△ 12.0%
	林 野 火 災	0	0	0	0.0%
	車 両 火 災	8	7	1	14.3%
	航 空 機 火 災	0	0	0	0.0%
	船 舶 火 災	2	0	2	皆増
	そ の 他 火 災	12	15	△ 3	△ 20.0%
焼 損 棟 数		45	60	△ 15	△ 25.0%
り 災 世 帯		36	53	△ 17	△ 32.1%
り 災 人 員		73	115	△ 42	△ 36.5%
焼 損 床 面 積 (㎡)		301	892	△ 591	△ 66.3%
焼 損 表 面 積 (㎡)		114	73	41	56.2%
損 害 額 (千 円)		29,085	128,156	△ 99,071	△ 77.3%
死 者		3	4	△ 1	△ 25.0%
負 傷 者		13	24	△ 11	△ 45.8%

### 3 火災原因別状況

原因別 \ 年別	令和5年	令和4年	増減数
たばこ	18	14	4
こんろ	5	9	△ 4
かまど・風呂かまど	0	0	0
炉・焼却炉	0	0	0
ストーブ	0	2	△ 2
こたつ	0	1	△ 1
ボイラー	0	0	0
煙突・煙道	0	0	0
排気管	3	2	1
電気機器	3	2	1
電気装置	1	1	0
電灯・電話線	4	9	△ 5
内燃機関	0	1	△ 1
配線器具	1	3	△ 2
火あそび	1	0	1
マッチ・ライター	1	2	△ 1
たき火	1	3	△ 2
溶接機・溶断機	0	0	0
灯火	2	0	2
衝突の火花	0	0	0
取灰	0	0	0
火入れ	0	0	0
放火	2	2	0
放火の疑い	5	5	0
その他	11	10	1
不明・調査中	8	6	2
合計	66	72	△ 6



#### 4 救急出動状況

区分	年別	令和5年		令和4年		増減数	増減率
		出動数	構成比	出動数	構成比		
火災		50	0.2%	57	0.2%	△7	△12.3%
自然災害事故		2	0.0%	1	0.0%	1	100.0%
水難事故		17	0.1%	18	0.1%	△1	△5.6%
交通事故		1,458	5.1%	1,353	5.0%	105	7.8%
労働災害事故		216	0.7%	203	0.7%	13	6.4%
運動競技事故		101	0.4%	94	0.3%	7	7.4%
一般負傷		4,378	15.2%	4,029	14.9%	349	8.7%
加害		131	0.5%	137	0.5%	△6	△4.4%
自損行為		249	0.9%	197	0.7%	52	26.4%
急病		19,488	67.6%	18,076	66.7%	1,412	7.8%
その他		2,754	9.5%	2,949	10.9%	△195	△6.6%
計		28,844	—	27,114	—	1,730	6.4%

#### 5 消防相談出動状況

区分	署別	東署	西署	南署	北署	合計
		蜂の駆除	スズメバチ	0	1	0
	アシナガバチ	1	1	2	0	4
	ヘビの駆除	2	0	0	3	5
	動物の保護(捕獲)	2	5	0	7	14
	動物の死骸除去	5	4	4	5	18
その他	介護協力依頼	48	23	48	28	147
	警報器等に関すること	11	6	13	6	36
	花火・焚火等の放置、苦情	4	4	1	16	25
	落下物等の回収	0	2	4	1	7
	その他	26	26	22	33	107
	合計	99	72	94	99	364

## 【報告 2】 南部地区消防防災施設整備事業の計画見直しについて

### 【見直しの概要】

南部地区消防防災施設整備事業として、行徳地域の更なる消防力の充実強化を図るため、これまで、南消防署の建替えと併せて災害拠点施設を一体的に整備する用地の確保に向け取り組んできましたが、候補地は地権者との交渉において合意に至らなかったことから、計画の見直しについて検討することといたしました。その結果、老朽化した南消防署の建替えを最優先にするという判断にいたりました。

### 【今後について】

今後は、老朽化した南消防署の建替えに必要な用地の確保を進めて、事業の早期実現に向けて取り組んでいきます。

## 【報告 3】市川市火災予防条例の一部改正について

### 【改正理由】

国が市町村火災予防条例の基準として定めた「法令」が改正されたことにより、本市火災予防条例の一部を改正したものです。

### 【改正の内容】

#### 1 蓄電池設備について（条例第 13 条関係）

蓄電池設備は、電気を蓄えておく設備のことで、病院や商業施設が停電した際の非常用電源として使用されています。

今回の改正で、蓄電池設備の安全基準に係る単位が「アンペアアワー・セル」から「キロワット時」に変更されたことに伴い、条例の規制対象及び消防への届出対象となる蓄電池設備の基準を改めるほか、同設備の位置、構造及び管理に関する基準を一部改めたものです。

#### 2 厨房設備における離隔距離の見直しについて（条例別表第 3 関係）

飲食店等にみられる厨房設備を設置する際は、本条例別表第 3 に定める分類に応じて、建築物の壁等から同表に定められた離隔距離を保つこととなります。

今回の改正で、同表にこれまで分類されていなかった「木炭を燃料とする炭火焼き器」を追加し、離隔距離の見直しを行ったものです。

上記 1 及び 2 の施行日：令和 6 年 1 月 1 日

## 【報告4】第59回千葉県消防操法大会の結果について

### 【概要】

令和5年度（第63回）市川市消防団消防操法大会を勝ち抜き、更に、第42回東葛飾支部消防操法大会を勝ち抜いた、「ポンプ車の部」、「小型ポンプの部」、計2チームが、第59回千葉県消防操法大会へ出場しましたので、その結果について報告いたします。

### ○第59回千葉県消防操法大会

- 1 開催日時 令和5年7月22日（土）9時00分から
- 2 開催場所 市原市菊間783番地1 千葉県消防学校
- 3 出場種目 ポンプ車の部（第6分団）  
小型ポンプの部（第17分団）
- 4 大会結果

### 【団体表彰】

賞	順位	ポンプ車の部	小型ポンプの部
最優秀賞	1	匝瑳市消防団	市原市消防団
優秀賞	2	市川市消防団	成田市消防団
優良賞	3	四街道市消防団	市川市消防団
努力賞	4	浦安市消防団	横芝光町消防団
〃	5	成田市消防団	柏市消防団
〃	6	いすみ市消防団	神埼町消防団
〃	7	習志野市消防団	富津市消防団
〃	8	富津市消防団	いすみ市消防団
〃	9	館山市消防団	印西市消防団
〃	10	九十九里町消防団	鋸南町消防団
〃	11	長生郡市広域市町村圏 組合消防団	匝瑳市消防団
〃	12		長生郡市広域市町村圏 組合消防団

【個人表彰】

部門番員賞	分団	隊員名
ポンプ車最優秀 1 番員	第 6 分団	藤井 丈
ポンプ車最優秀 3 番員	第 6 分団	三谷 昌秀
小型ポンプ最優秀 1 番員	第 17 分団	岡本 成生

## 【報告5】第51回全国消防救助技術大会の結果について

### 【概要】

第51回消防救助技術関東地区指導会を勝ち抜いた、陸上の部1種目5名、水上の部2種目3名の隊員が、第51回全国消防救助技術大会へ出場しましたので、その結果について報告いたします。

#### 1 開催日時

令和5年8月25日（金）9時00分から

#### 2 開催場所

(1) 陸上の部 札幌市消防学校（北海道札幌市）

(2) 水上の部 札幌市平岸プール（北海道札幌市）

#### 3 出場種目及び出場隊員

##### (1) 陸上の部 引揚救助

南消防署 消防司令補 廣田 俊朗

北消防署 消防司令補 田中 道智

南消防署 消防士長 村山 孝文

南消防署 消防士 篠塚 駿

西消防署 消防士 倉元 聡

##### (2) 水上の部

###### ア 複合検索

大洲出張所 消防士 篠原 優太

###### イ 水中結索

大洲出張所 消防士長 安井 徳弘

大洲出張所 消防士長 小林 翔易

大洲出張所 消防士 篠原 優太（重複）

#### 4 大会結果

##### (1) 陸上の部

引揚救助 22チーム中 2位 (入賞)

##### (2) 水上の部

ア 複合検索 25人中 16位 (入賞)

イ 水中結索 13チーム中 5位 (入賞)

【その他】消防局における今後の主な行事予定について

令和6年度消防局行事予定（令和6年1月31日現在）

日 時	場 所	行事名	備 考
4月下旬	大野消防訓練場	市制施行90周年記念事業 第64回市川市消防団消防操法大会	
5月23日	千葉県消防学校	第49回消防救助技術千葉県大会 【陸上の部】	
6月19日	千葉県国際総合水泳場	第49回消防救助技術千葉県大会 【水上の部】	
6月30日	野田市	第43回東葛飾支部消防操法大会	
7月18日	千葉県消防学校 千葉県国際総合水泳場	第52回消防救助技術関東地区指導会	
7月（実施日未定）	千葉県消防学校	第60回千葉県消防操法大会	